

**世界最小・最軽量ネイティブ 4K プロジェクター “4K6021Z” を発売  
インターフェース強化により 4K/60P の映像投写時に高い階調表現が可能**

キヤノンは、「パワープロジェクター」シリーズの新製品として、<sup>エルコス</sup>LCOS (Liquid Crystal On Silicon=反射型液晶) 方式のネイティブ 4K<sup>\*1</sup> パネルを搭載し、インターフェースを強化したレーザー光源プロジェクター “4K6021Z” を 2019 年 9 月上旬に発売します。



4K6021Z  
\* RS-SL07RST 装着時

新製品は、ネイティブ 4K パネルを搭載したレンズ交換式レーザー光源プロジェクター「4K6020Z」(2018 年 12 月発売) の後継機種です。世界最小・最軽量を実現した「4K6020Z」の筐体設計を継承し、「4K6020Z」と同じ世界最小・最軽量<sup>\*2</sup>とインターフェースの強化を両立することで、より手軽に企業内のデザインレビューや美術館・博物館、医用画像の投写<sup>\*3</sup>など高い色再現性を求められるシーンに適しています。

**■ ネイティブ 4K で世界最小・最軽量のコンパクト設計**

レーザー光源システムによる 6,000lm の高輝度と、LCOS 方式のネイティブ 4K パネルの採用により、4K コンテンツの色鮮やかで明るい高精細な投写が可能です。また、光学システムのキーパーツを小型化することにより、大きさ約 480 (幅) × 175 (高さ) × 545 (奥行き) mm、質量約 19kg<sup>\*4</sup>と世界最小・最軽量を実現しています。

**■ 7 本の交換レンズ (別売り) による幅広い投写領域の実現**

ネイティブ 4K プロジェクター「4K5020Z」(2018 年 12 月発売) や WUXGA (1,920 × 1,200 画素) プロジェクター「WUX7000Z」(2018 年 7 月発売) と筐体を同等にした「共通プラットフォーム設計」を採用しています。すでに発売されている超短焦点から超望遠までの 7 本の交換レンズ (別売り) を使用でき、幅広い設置環境に対応します。

**■ インターフェースの強化により 4K/60P の映像投写時に高い階調表現が可能**

映像出力規格「DisplayPort 1.2」に対応する接続端子を新たに 2 つ搭載しており、豊富な色情報を持つ RGB 4 : 4 : 4 (10bit) 信号での 4K/60P 映像の投写ができるようになります。これにより、デザインコンテンツや CAD 図面用途など緻密で高い階調表現の投写が要求される分野に適しています。

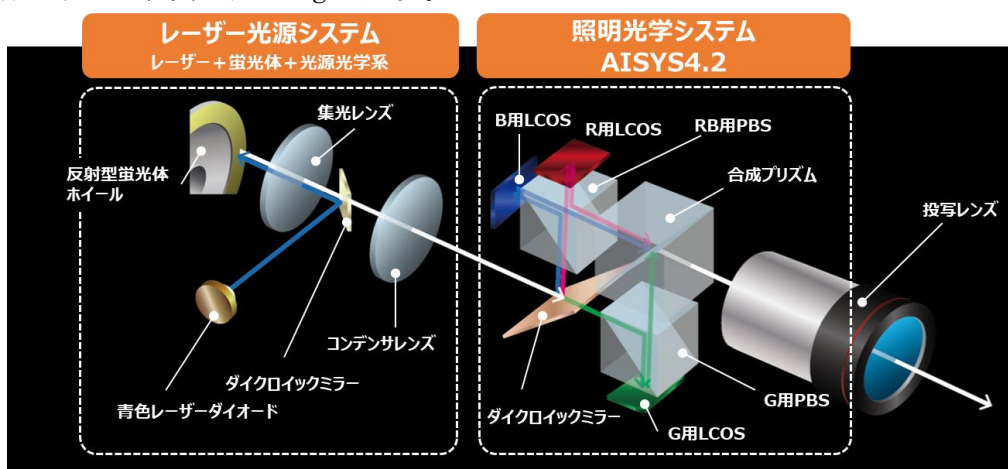
製品名	希望小売価格	発売日
4K6021Z	オープン価格	2019 年 9 月上旬

※1 デジタルシネマ規格 4K 解像度 (4,096 × 2,160 画素)。  
 ※2 レーザー光源を搭載したネイティブ 4K 解像度 6,000lm/5,000lm クラスのレンズ交換式プロジェクターにおいて。大きさは突起物、レンズ含まず。質量はレンズ含まず。“4K6021Z”と「4K6020Z」、「4K5020Z」は大きさ、質量が同等でいずれも世界最小・最軽量。2019 年 7 月 21 日現在。(キヤノン調べ)  
 ※3 本プロジェクターは、医療診断用機器ではないため、読影や診断には使用できません。  
 ※4 突起物を含む場合は、約 480 (幅) × 196 (高さ) × 545 (奥行き) mm。大きさ、質量はレンズ含まず。

## <主な特長>

### 1. ネイティブ 4K で世界最小・最軽量のコンパクト設計

- ・レーザー光源システムによる 6,000lm で、明るい映像投写が可能。
- ・LCOS 方式のネイティブ 4K パネルを採用し、映像情報の 1 ピクセルをプロジェクターの 1 ドットに拡大縮小せずにドットバイドットで忠実に再現できるため、4K コンテンツの色鮮やかで高精細な映像投写が可能。
- ・青色レーザーダイオードと反射型蛍光体ホイールで白色光を効率よく生成できる「レーザー光源システム」と、「照明光学システム (AISYS)」で構成されるキヤノン独自の「光学システム」のキーパーツの小型化技術により、世界最小・最軽量の大きさ約 480 (幅) ×175 (高さ) ×545 (奥行き) mm、質量約 19kg を実現。



光学システムイメージ図

### 2. 7本の交換レンズ(別売り)による幅広い投写領域の実現

- ・ネイティブ 4K プロジェクター「4K5020Z」(2018年12月発売)や WUXGA (1,920×1,200画素) プロジェクター「WUX7000Z」(2018年7月発売)と筐体を同等にした「共通プラットフォーム設計」を採用。ネイティブ 4K プロジェクターでありながら、すでに発売されている超短焦点から超望遠までの7本の交換レンズ(別売り)を使用でき、幅広い設置環境に対応可能。



共通プラットフォームイメージ図

※ 質量はレンズ含まず

- ・レンズ交換式 4K プロジェクター用の高画質ズームレンズ「RS-SL07RST」（2018 年 12 月発売、別売り）は、イメージング技術の粋を集めた製品群を象徴する「レッドライン」を施したデザインを採用。精細な曲面投写を実現する「周辺フォーカス調整機能」を搭載し、プラネタリウムなどのドーム型スクリーンへも、最周辺まで高解像の美しい投写が可能。



### 3. インターフェースの強化により 4K/60P の映像投写時に高い階調表現が可能

- ・映像出力規格「DisplayPort 1.2」に対応する接続端子を新たに 2 つ搭載しており、豊富な色情報を持つ RGB 4 : 4 : 4 (10bit) 信号での 4K/60P 映像の投写が可能。これにより、デザインコンテンツや CAD 図面用途など緻密で高い階調表現の投写が要求される分野に最適。



**インターフェース**

- ・ロック機構を採用した接続ケーブルに対応したことにより、端子が抜けづらく業務用途での信頼性を確保。



**ロック機構イメージ**

### **<プロジェクターの市場動向>**

2018年のビジネスプロジェクターの市場規模は、世界市場で約630万台、国内市場で約22万台でした。この中における4Kビジネスプロジェクターの国内市場は、映像の高画質化や各社ラインアップの強化に伴い、2018年の台数において対前年150%超の成長であり、今後も着実な市場拡大が見込まれています。(キヤノン調べ)

### **<主な製品仕様>**

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

\* 記載されている商品名等は、一般に各社の商標、または登録商標です。